



有効茎数を確保⇒直ちに中干し！ 茎数不足⇒6月中に茎数確保！ 穂肥に向けた準備を遅れずに！

◎ 生育概況

「雪若丸」の6月25日現在の県全域の生育は、平年に比べて草丈は長く、茎数は平年並み、葉数はやや多く、葉色はやや淡い状況です。

平坦部「雪若丸」の生育（6月25日）

項目	調査値	平年値	平年比・差
草 丈	39.7 cm	36.9 cm	108 長い
茎 数	610 本/m ²	601 本/m ²	101 平年並み
葉 数	9.4 枚	9.1 枚	0.3 やや多い
葉色 (SPAD)	44.3	45.5	-1.2 やや淡い

※農業技術環境課調べ

◎ 技術対策

（１）有効茎数を確保したほ場から遅れずに作溝・中干し！

「雪若丸」は、6月中（8～9葉期まで）に有効茎数（560～580本/m²）を確保することが高品質・良食味米生産のポイントです。

有効茎数を確保したほ場では、直ちに作溝・中干しを行いましょう。

（２）茎数不足の圃場では、浅水管理とワキ対策を徹底して分けつ促進！

日中止水、夜間かんがい徹底し、水深2～3cmの浅水管理で分けつを促しましょう。

2週間予報によると、今後も気温の高い日が多い見込みです。

土壌の異常還元（ワキ）がみられた場合は、夜間落水や田干しを行い、根圏環境の改善を図ります。

（３）穂肥前の生育制御

幼穂形成期（出穂25日前）まで葉色を40未満に低下させないことが管理のポイントです。

6月30日の生育診断で穂肥をしっかりと行える生育となるように、茎数や葉色をコントロールします。

6月30日の適正生育量

茎数	葉色 (SPAD)
560～750本/m ²	40～44

斑点米カメムシ類多い！

斑点米カメムシ類の発生密度減らすために、畦畔の草刈りは7月中旬までに終わしましょう！